

ARAKAWA

CLIP10

あらかわクリップ 第10号

新春のご挨拶



あけましておめでとうございます。

今年のお正月も諸外国からの観光客で京都は大いに賑わっております。ここ数年、アウトバウンドからインバウンドへと変化し、より多様化された、より日本らしい商品が求められております。

そんな中、去年は企業の不正があまりにも多く判明しました。「ものづくり」を大切にと言いながら儲け第一主義になり、善悪の見境が無くなってきているのは、現代の「商い」の最大の問題であり、虚しささえ覚えます。本来、日本の製品は価格に左右されることなく、きっちり作られた、間違いのない商品でした。

当社も今一度、原点に戻り正しい「商い」を目指し、お客様に本当に喜んでいただける対応・提案・ものづくりを行ってまいります。

今年もここに「あらかわくりっぷ」新年号をお届けいたします。どうぞご覧下さいますようお願い申し上げます。



荒川印刷株式会社
代表取締役社長 荒川昌浩

2016

迎春

今年の
一文字

2016年になりました。

今年8月に、リオデジャネイロオリンピックが開催されます。どんな記録やドラマが誕生するのか楽しみです。アスリート以外でも目標を定めるのは人生において大切なことです。その目標を達成するために、もちろん努力が必要なのですが、縁起物にあやかりたいと思うのはいつの時代も同じではないでしょうか。

そこで、今回昔から身近な縁起物の「招き猫」にスポットを当ててみます。

招き猫とは？

「招き猫」が縁起物とされた歴史は江戸時代にさかのぼります。同じ縁起物の「七福神」や「だるま」のように神仏ではありませんので制約も少なく、手を上げている以外は持ち物や表情、色柄など色々なバリエーションがあります。右手（前脚）を挙げている猫は金運を招き、左手（前脚）を挙げている猫は人（客）を招くとされています。両手を挙げたものもありますが、「欲張りすぎると「お手上げ万歳」になるのが落ち」と嫌う人が多いようです。

一般には三毛猫ですが、スタンダードな白猫は全般的な開運招福。黒猫は厄除け、金色や黄色の猫は金運UP、赤色の招き猫は病除け、青色は学業向上、交通安全、ピンクの招き猫は恋愛成就のご利益があると言われています。



おもしろいことに

猫にはない眉が描かれている招き猫もあります。その眉が鶴や亀をかたどっているものは、よりめでたく、より縁起良くという願いから描かれたといわれ、養蚕が盛んな地方の招き猫の眉（繭）は長めに描かれています。

それぞれ願いごとによって表情を変える招き猫。あなたならどんなオリジナル招き猫を作りますか？



この川柳
そろそろ誰かに
怒られそう



同窓会
未だ一度も
呼ばれない



静電気
忘れた頃に
いつもくる



体脂肪
換金できれば
大金持ち



ア・ラ川柳

あらかわ柳人による...



荒川印刷株式会社

- 本社 〒602-8036 京都府京都市上京区榎木町通堀川東入西山崎町229-1
TEL 075-231-0889 FAX 075-211-5883
- 東京営業所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目44-6 A202
TEL/FAX 03-3378-1088 担当者携帯 090-8147-3620

あらかわくりっぷ 第10号 2016年1月20日 発行

今回のあらかわくりっぷもオンデマンド印刷機で印刷しました！